

令和5年度学校評価—学校関係者評価書

北海道網走養護学校

○学校関係者評価委員（学校運営協議会）	12名
○配布資料	・自己評価書 ・教職員アンケート ・保護者アンケート

評価委員より	学校における改善策等
<p>1 学校は食育・食事の指導を適切に実施し、効果を上げている項目について</p> <p>認識ギャップは、保護者は評価しているけれども教職員は評価していないと言うことは、どういうことか。子ども達の好き嫌いの改善について等の情報共有が保護者・教員間でできていないということもあるのか。</p> <p>2 学校は、効率よく業務にあたり、時間外勤務縮減に取り組んでいる項目について</p> <p>業務の効率化については、全ての面に関わってくると思うので難しいところもあるかと思われる。業務を効率化してしまうと、保護者と教職員のコミュニケーションが不足していくということも懸念される。ここ数年は働き方改革も進んでいるので理解はできるが、保護者と教職員の連携が不足していくので、線引きの決定が難しいと感じている。</p> <p>3 その他学校運営全体について</p> <p>建物の老朽化が課題かと感じている。学校としてはどうお考えか。</p>	<p>・教員からの評価が低い理由としては、物価の高騰なども関係し、行事食などの提供が少ないと言うことを課題として感じている結果となっている。来年度給食費の値上げを行い、よりよい食育を実施する。</p> <p>・PTAの組織や活動内容の変更を行い、業務の効率化をはかり、よりよいPTA活動が行えるように改善する。</p> <p>・5年後に改修工事が予定されているので、その際に水治訓練室を改修・整備していく予定です。来年からの水治訓練については、子ども達のニーズをふまえて工夫していかねばならないと考えています。市民プールの利用も考えているが、自立排せつが難しい生徒は利用ができない。北見支援学校のプールを利用する案も考えているが、交通費の捻出が難しいという課題を抱えている。</p>

<p>主要課題が年々改善されていっていることは良いことと感じる。業務の効率化と保護者との連携については紙一重の問題と感じてる。ボランティア派遣事業を行っているので、ご協力していきたい。</p> <p>進路関係について、今後も協力していきたいと思う。</p> <p>熱中症対策についても5年後なのか。</p> <p>児童生徒を呼び捨てやあだ名で呼んだり、厳しすぎる指導については、保護者からの意見なのか。</p>	<p>・現在各教室等に置いている簡易クーラーを来年度は使っていただき、秋頃からクーラーの設置工事が進みます。令和7年度からはクーラーを利用できる予定。</p> <p>教職員から挙がっている意見であり、次年度「さん」づけで呼ぶようにグランドデザインで提示し、改善させる。</p>
---	--